

SPARC Enterprise

T5120/T5220サーバ

設置計画マニュアル





SPARC Enterprise™ T5120/T5220 サーバ 設置計画マニュアル

本書には、富士通株式会社により提供および修正された技術情報が含まれています。

Sun Microsystems, Inc. および富士通株式会社は、それぞれ本書に記述されている製品および技術に関する知的所有権を所有または管理しています。これらの製品、技術、および本書は、著作権法、特許権などの知的所有権に関する法律および国際条約により保護されています。これらの製品、技術、および本書に対して Sun Microsystems, Inc. および富士通株式会社が有する知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付随する製品および技術は、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。富士通株式会社と Sun Microsystems, Inc. およびそのライセンサーの書面による事前の許可なく、このような製品または技術および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。本書の提供は、明示的であるか黙示的であるかを問わず、本製品またはそれに付随する技術に関するいかなる権利またはライセンスを付与するものでもありません。本書は、富士通株式会社または Sun Microsystems, Inc. の一部、あるいはそのいずれかの関連会社のいかなる種類の義務を含むものでも示すものでもありません。

本書および本書に記述されている製品および技術には、ソフトウェアおよびフォント技術を含む第三者の知的財産が含まれている場合があります。これらの知的財産は、著作権法により保護されているか、または提供者から富士通株式会社および/または Sun Microsystems, Inc. へライセンスが付与されているか、あるいはその両方です。

GPL または LGPL が適用されたソースコードの複製は、GPL または LGPL の規約に従い、該当する場合に、一般ユーザーからのお申し込みに応じて入手可能です。富士通株式会社または Sun Microsystems, Inc. にお問い合わせください。

この配布には、第三者が開発した構成要素が含まれている可能性があります。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

Sun™、Sun Microsystems™、Sun のロゴ®、Java™、Netra™、Solaris™、Sun StorageTek™、docs.sun.com™、OpenBoot™、SunVTS™、SunSolve™、CoolThreads™、J2EE™ および Sun Fire™ は、米国およびその他の国における Sun Microsystems, Inc. またはその子会社の商標または登録商標です。

富士通および富士通のロゴマークは、富士通株式会社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、Sun Microsystems, Inc. が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

SPARC64 は、Fujitsu Microelectronics, Inc. および富士通株式会社が SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の商標です。

SSH は、米国およびその他の特定の管轄区域における SSH Communications Security の登録商標です。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、Sun Microsystems, Inc. が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。Sun Microsystems, Inc. は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。Sun Microsystems, Inc. は Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは、OPEN LOOK GUI を実装しているかまたは Sun の書面によるライセンス契約を満たす Sun Microsystems, Inc. のライセンス実施権者にも適用されます。

United States Government Rights - Commercial use. U.S. Government users are subject to the standard government user license agreements of Sun Microsystems, Inc. and Fujitsu Limited and the applicable provisions of the FAR and its supplements.

免責条項: 本書または本書に記述されている製品や技術に関して富士通株式会社、Sun Microsystems, Inc. またはそのいずれかの関連会社が行う保証は、製品または技術の提供に適用されるライセンス契約で明示的に規定されている保証に限りです。このような契約で明示的に規定された保証を除き、富士通株式会社、Sun Microsystems, Inc. およびそのいずれかの関連会社は、製品、技術、または本書に関して、明示、黙示を問わず、いかなる種類の保証も行いません。これらの製品、技術、または本書は、現状のまま提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も、かかる免責が法的に無効とされた場合を除き、行われぬものとします。このような契約で明示的に規定されていないかぎり、富士通株式会社、Sun Microsystems, Inc. またはそのいずれかの関連会社は、いかなる法理論のものも第三者に対しても、その収益の損失、有用性またはデータに関する損失、あるいは業務の中断について、あるいは間接的損害、特別損害、付随的損害、または結果的損害について、そのような損害の可能性が示唆されていた場合であっても、適用される法律が許容する範囲内で、いかなる責任も負いません。

本書は、「現状のまま」提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も、かかる免責が法的に無効とされた場合を除き、行われぬものとします。

原典: SPARC Enterprise T5120 and T5220 Servers Site Planning Guide
Manual Code: C120-H027-03EN



Please
Recycle



Adobe PostScript

目次

はじめに v

SPARC Enterprise T5120/T5220 サーバ設置計画マニュアル 1

物理仕様 2

保守用スペース 3

環境仕様 3

電源要件 4

音響ノイズの放出 8

適合規格の仕様 8

動作環境の要件 9

電源 9

周囲の温度 10

周囲の相対湿度 10

通気に関する考慮事項 11

はじめに

このマニュアルでは、SPARC Enterprise™ T5120 または T5220 サーバの設置を計画する際に必要な仕様および設置場所の要件について説明します。

安全な使用のために

このマニュアルには当製品を安全に使用していただくための重要な情報が記載されています。当製品を使用する前に、このマニュアルを熟読してください。また、このマニュアルは大切に保管してください。

富士通は、使用者および周囲の方の身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。本製品を使用する際は、マニュアルの説明に従ってください。

関連マニュアル

SPARC Enterprise シリーズのすべてのマニュアルは、次のウェブサイトで最新版を提供しています。

国内

(<http://primeserver.fujitsu.com/sparcenterprise/manual/>)

海外

(<http://www.fujitsu.com/sparcenterprise/manual/>)

タイトル	説明	コード
SPARC Enterprise T5120 サーバ はじめにお読みください	サーバの初回電源投入および起動のために 必要な簡易手順	C120-E518
SPARC Enterprise T5120 サーバ はじめにお読みください (DC 入力電源作動モデル用)	DC 入力電源作動モデルにおける初回電源 投入および起動のために必要な簡易手順	C120-E552
SPARC Enterprise T5220 サーバ はじめにお読みください	サーバの初回電源投入および起動のために 必要な簡易手順	C120-E519
SPARC Enterprise T5220 サーバ はじめにお読みください (DC 入力電源作動モデル用)	DC 入力電源作動モデルにおける初回電源 投入および起動のために必要な簡易手順	C120-E553
SPARC Enterprise T5120/T5220 サーバプロダクトノート	製品の更新および問題に関する最新情報	C120-E458
Important Safety Information for Hardware Systems	SPARC Enterprise シリーズのすべての サーバに共通する安全性に関する情報	C120-E391
SPARC Enterprise T5120/T5220 サーバ安全に使用していただく ために	このサーバの安全性および適合性に関する 情報	C120-E461
SPARC Enterprise/ PRIMEQUEST 共通設置計画マニュアル	SPARC Enterprise および PRIMEQUEST を設置するための、設置計画および設備計 画に必要な事項や考え方	C120-H007
SPARC Enterprise T5120/T5220 サーバ設置計画マニュアル	設置計画に関するサーバの仕様	C120-H027
SPARC Enterprise T5120/T5220 サーバ製品概要	製品の機能	C120-E460
SPARC Enterprise T5120/T5220 サーバインストールレーションガイド	ラック搭載、ケーブル配線、電源投入、 および構成に関する詳細情報	C120-E462

タイトル	説明	コード
SPARC Enterprise T5120/T5220 サーバサービスマニュアル	診断を実行してサーバの障害追跡を行う方法、およびサーバの部品を取り外して交換する方法	C120-E463
SPARC Enterprise T5120/T5220 サーバアドミニストレーションガイド	サーバ固有の管理作業の実行方法	C120-E464
Integrated Lights Out Manager 2.0 ユーザーズガイド	Integrated Lights Out Manager (ILOM) 2.0 ソフトウェアで管理されるすべてのプラットフォームに共通する情報	C120-E474
Integrated Lights Out Manager 2.0 補足マニュアル SPARC Enterprise T5120/T5220 サーバ	このサーバで ILOM 2.0 ソフトウェアを使用する方法	C120-E465
Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 概念ガイド	ILOM 3.0 の特徴および機能に関する情報	C120-E573
Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 入門ガイド	ネットワーク接続、ILOM 3.0 への初回ログイン、およびユーザーアカウントやディレクトリサービスの設定に関する情報および手順	C120-E576
Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 Web Interface 手順ガイド	ILOM Web インタフェースを使用して ILOM3.0 の機能にアクセスするための情報 および手順	C120-E574
Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 CLI 手順ガイド	ILOM CLI を使用して ILOM 3.0 の機能に アクセスするための情報および手順	C120-E575
Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 SNMP および IPMI 手順ガイド	SNMP または IPMI 管理ホストを使用して ILOM 3.0 の機能にアクセスするための情報 および手順	C120-E579
Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.x 機能更新およびリ リースノート	ILOM 3.0 のリリース以降に行われた ILOM ファームウェアのエンハンスメント に関する情報	C120-E600
Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 補足マニュアル SPARC Enterprise T5120/T5220 サーバ	このサーバで ILOM 3.0 ソフトウェアを使用 する方法	C120-E577
PCI ボックス インストレー ション・サービスマニュアル	PCI ボックスを SPARC Enterprise T5120/T5140/T5220/T5240/T5440 サーバ に設置する手順	C120-E543
PCI ボックスプロダクトノート	PCI ボックスに関する重要な最新情報	C120-E544

注 – 本製品の最新情報はプロダクトノートで確認してください。プロダクトノートはウェブサイトだけに公開されています。

ご意見をお寄せください

本書に関するご意見、ご要望または内容に不明確な部分がありましたら、マニュアル番号、マニュアル名称、ページおよび具体的な内容を下記 URL の『お問い合わせ』から送付してください。

SPARC Enterprise マニュアルのサイト

(<http://primeserver.fujitsu.com/sparcenterprise/manual/>)

SPARC Enterprise T5120/T5220 サーバ設置計画マニュアル

このマニュアルでは、SPARC Enterprise T5120 および T5220 サーバの仕様および設置計画の要件について説明します。

このマニュアルは次の節で構成されています。

- 2 ページの「物理仕様」
- 3 ページの「保守用スペース」
- 3 ページの「環境仕様」
- 4 ページの「電源要件」
- 8 ページの「音響ノイズの放出」
- 8 ページの「適合規格の仕様」
- 9 ページの「動作環境の要件」
- 9 ページの「電源」
- 10 ページの「周囲の温度」
- 10 ページの「周囲の相対湿度」
- 11 ページの「通気に関する考慮事項」

安全性と適合性に関する情報については、『SPARC Enterprise T5120/T5220 サーバ安全に使用していただくために』および使用しているサーバに付属のドキュメントを参照してください。

関連マニュアル

- 2 ページの「物理仕様」
- 『SPARC Enterprise T5120/T5220 サーバ製品概要』
- 『SPARC Enterprise T5120/T5220 サーバ安全に使用していただくために』

物理仕様

表 1 SPARC Enterprise T5120 サーバの物理仕様

説明	ヤード法	メートル法
幅	16.75 インチ	425 mm
奥行	28.125 インチ	714 mm
高さ	1.746 インチ	44 mm
おおよその重量 (PCI カードおよびラック搭載なし)	40 lb	18 kg

表 2 SPARC Enterprise T5220 サーバの物理仕様

寸法	ヤード法	メートル法
幅	16.75 インチ	425 mm
奥行	28.125 インチ	714 mm
高さ (2 ラックユニット)	3.49 インチ	88 mm
おおよその重量 (PCI カードおよびラック搭載なし)	55 lb	25 kg

関連マニュアル

- [3 ページの「保守用スペース」](#)

保守用スペース

表 3 両方のサーバで最低限必要な保守用スペース

説明	スペース
システム正面のスペース	36 インチ (91 cm)
システム背面のスペース	36 インチ (91 cm)

関連マニュアル

- [3 ページの「環境仕様」](#)

環境仕様

表 4 両方のサーバの環境仕様

仕様	動作時	非動作時
温度	<ul style="list-style-type: none">• 海拔 900m (2953 フィート) までの地点: 5 ~ 35°C (41 ~ 95°F)• 海拔 900m (2953 フィート) を超える地点: 最高許容温度は、300m (1000 フィート) ごとに 1×C (1.6°F) ずつ下がる	-40 ~ 65°C (-40 ~ 149°F) IEC 60068-2-1 Test Ab および 60068-2-2 Test Bb
相対湿度	10 ~ 90% RH、27°C 最高湿球温度 (結露なし) IEC 60068-2-56 Test Cb	93% RH、35°C 最高湿球温度 (結露なし) IEC 60068-2-56 Test Cb

表 4 両方のサーバの環境仕様 (続き)

仕様	動作時	非動作時
高度	3,000m (10,000 フィート)	12,000 m (40,000 フィート)
	IEC 60068-2-13 Test M および 60068-2-41 Test Z/BM	IEC 60068-2-13 Test M
振動	0.15 G (z 軸)、 0.10 G (x 軸、y 軸)、5 ~ 500 Hz 掃引 正弦	0.5 G (z 軸)、 0.25 G (x 軸、y 軸)、5 ~ 500 Hz 掃引 正弦
	IEC 60068-2-6 Test Fc	IEC 60068-2-6 Test Fc
衝撃	3 G、11 ミリ秒、半正弦 IEC 60068-2-27 Test Ea	<ul style="list-style-type: none"> • ロールオフ 1 インチロールオフ自由落下、正面 から背面方向へのロール • 段差 25mm の段差、衝突時の速度 0.75m/s
		ETE-1010-02 Rev A

関連マニュアル

- [4 ページの「電源要件」](#)

電源要件

SPARC Enterprise T5120 および T5220 サーバのどちらにも、自動レンジ調節機能付き電源装置が 2 台搭載されています。電源装置の冗長動作を確実にするため、2 本の電源コードは別々の回路に接続してください。

DC 入力電源で動作するサーバモデルでは、『SPARC Enterprise T5120/T5220 サーバインストールガイド』の説明に従って電源ケーブルを作成し、DC 入力電源に接続する必要があります。

仕様は、計画の指針としてのみ使用してください。電力のより正確な値については、計画された作業負荷を使用して、特定のサーバ構成で電力測定を行なってください。使用しているサーバに応じて、次のいずれかの表を参照してください。

表 5 SPARC Enterprise T5120 サーバ (4 ディスク構成) の電源仕様

一般的な仕様	AC 入力モデル	DC 入力モデル
動作入力電圧範囲 (入力電圧許容範囲 +/- 10%)	100 ~ 240 VAC、 50 ~ 60 Hz	-48 ~ -60 VDC
最大動作入力電流	100 VAC 時: 7.0A	-48 VAC 時: 15.4A
最大動作入力電流	200 VAC 時: 3.5A	
最大動作入力電力	100 VAC 時: 660.3 W	-48 VAC 時: 616.8 W
最大放熱量	2253.0 BTU/時 (2377.1 KJ/時)	2104.5 BTU/時 (2220.3 KJ/時)
最大待機電力	9.2 W	8.6 W
最大サーバ構成時の仕様		
公称温度および電圧の条件下 (8 コア 1.6 GHz のプロセッサ、16 枚の 4G バイト FBDIMM、4 台の HDD、3 枚の PCIe I/O カード)		
アイドル時の入力電力	381.5 W	356.4 W
SpecJBB 動作中のピーク時の入力電力	615.3 W	574.7 W
最小サーバ構成時の仕様		
公称温度および電圧の条件下 (4 コア 1.2 GHz のプロセッサ、4 枚の 1G バイト FBDIMM、HDD なし、PCIe I/O カードなし)		
アイドル時の入力電力	187.0 W	174.7 W
SpecJBB 動作中のピーク時の入力電力	200.0 W	186.8 W

表 6 SPARC Enterprise T5120 サーバ (8 ディスク構成) の電源仕様

一般的な仕様	AC 入力モデル	DC 入力モデル
動作入力電圧範囲 (入力電圧許容範囲 +/- 10%)	100 ~ 240 VAC、 50 ~ 60 Hz	-48 ~ -60 VDC
最大動作入力電流	100 VAC 時: 7.3A	-48 VAC 時: 16.3A
最大動作入力電流	200 VAC 時: 3.7A	
最大動作入力電力	100 VAC 時: 697.4 W	-48 VAC 時: 651.4 W
最大放熱量	2379.5 BTU/時 (2510.5 KJ/時)	2222.6 BTU/時 (2344.9 KJ/時)

表 6 SPARC Enterprise T5120 サーバ (8 ディスク構成) の電源仕様 (続き)

最大待機電力	9.2 W	8.6 W
最大サーバ構成時の仕様		
公称温度および電圧の条件下 (8 コア 1.4 GHz のプロセッサ、16 枚の 4G バイト FBDIMM、8 台の HDD、3 枚の PCIe I/O カード)		
アイドル時の入力電力	419.2 W	391.5 W
SpecJBB 動作中のピーク時の入力電力	662.4 W	618.7 W
最小サーバ構成時の仕様		
公称温度および電圧の条件下 (4 コア 1.2 GHz のプロセッサ、4 枚の 1G バイト FBDIMM、HDD なし、PCIe I/O カードなし)		
アイドル時の入力電力	187.0 W	174.7 W
SpecJBB 動作中のピーク時の入力電力	200.0 W	186.8 W

表 7 SPARC Enterprise T5220 サーバ (8 ディスク構成) の電源仕様

一般的な仕様	AC 入力モデル	DC 入力モデル
動作入力電圧範囲 (入力電圧許容範囲 +/- 10%)	100 ~ 240 VAC、 50 ~ 60 Hz	-48 ~ -60 VDC
最大動作入力電流	100 VAC 時: 8.9A	-48 VAC 時: 19.7A
最大動作入力電流	200 VAC 時: 4.4A	
最大動作入力電力	100 VAC 時: 844.4 W	-48 VAC 時: 788.7 W
最大放熱量	2881.1 BTU/時 (3039.7 KJ/時)	2691.1 BTU/時 (2839.3 KJ/時)
最大待機電力	10.1 W	9.4 W
最大サーバ構成時の仕様		
公称温度および電圧の条件下 (8 コア 1.6 GHz のプロセッサ、16 枚の 4G バイト FBDIMM、8 台の HDD、6 枚の PCIe I/O カード)		
アイドル時の入力電力	471.5 W	440.4 W
SpecJBB 動作中のピーク時の入力電力	807.4 W	754.1 W
最小サーバ構成時の仕様		
公称温度および電圧の条件下 (4 コア 1.2 GHz のプロセッサ、4 枚の 1G バイト FBDIMM、HDD なし、PCIe I/O カードなし)		
アイドル時の入力電力	194.0 W	181.2 W
SpecJBB 動作中のピーク時の入力電力	220.0 W	205.5 W

表 8 SPARC Enterprise T5220 サーバ (16 ディスク構成) の電源仕様

一般的な仕様	AC 入力モデル	DC 入力モデル
動作入力電圧範囲 (入力電圧許容範囲 +/- 10%)	100 ~ 240 VAC、 50 ~ 60 Hz	-48 ~ -60 VDC
最大動作入力電流	100 VAC 時: 9.9A	-48 VAC 時: 21.9A
最大動作入力電流	200 VAC 時: 4.9A	
最大動作入力電力	100 VAC 時: 938.5 W	-48 VAC 時: 876.6 W
最大放熱量	3202.2 BTU/時 (3378.5 KJ/時)	2991.1 BTU/時 (3155.7 KJ/時)
最大待機電力	10.1 W	9.4 W
最大サーバ構成時の仕様		
公称温度および電圧の条件下 (8 コア 1.6 GHz のプロセッサ、16 枚の 4G バイト FBDIMM、16 台の HDD、6 枚の PCIe I/O カード)		
アイドル時の入力電力	546.8 W	510.7 W
SpecJBB 動作中のピーク時の入力電力	901.5 W	842.0 W
最小サーバ構成時の仕様		
公称温度および電圧の条件下 (4 コア 1.2 GHz のプロセッサ、4 枚の 1G バイト FBDIMM、HDD なし、PCIe I/O カードなし)		
アイドル時の入力電力	194.0 W	181.2 W
SpecJBB 動作中のピーク時の入力電力	220.0 W	205.5 W

注 - 最大動作入力電流の値は、 $P \div (V \times 0.95)$ に基づいたものです (P = 最大動作入力電力、 V = 入力電圧)。次に例を示します。110 VAC 時には $662 \div (110 \times 0.95) = 6.33$ A になります。この等式を使用して、特定の入力電圧に対する最大動作入力電流を計算できます。

関連マニュアル

- [8 ページの「音響ノイズの放出」](#)

音響ノイズの放出

SPARC Enterprise T5120 および T5220 サーバのノイズ放出は、どちらも ISO 9296 標準に準拠しています。

表 9 SPARC Enterprise T5120 サーバの音響ノイズの放出

説明	モード	仕様
LwAd (1 B = 10 dB)	動作時の音響ノイズ	7.0 B
	アイドリング時の音響ノイズ	7.0 B
LpAm (バイスタンダ位置)	動作時の音響ノイズ	59 dB
	アイドリング時の音響ノイズ	59 dB

表 10 SPARC Enterprise T5220 サーバの音響ノイズの放出

説明	モード	仕様
LwAd (1 B = 10 dB)	動作時の音響ノイズ	7.4 B
	アイドリング時の音響ノイズ	7.4 B
LpAm (バイスタンダ位置)	動作時の音響ノイズ	63 dB
	アイドリング時の音響ノイズ	63 dB

関連マニュアル

- [8 ページの「適合規格の仕様」](#)

適合規格の仕様

適合規格の仕様の全リストは、『SPARC Enterprise T5120/T5220 サーバ安全に使用していただくために』を参照してください。

関連マニュアル

- [9 ページの「動作環境の要件」](#)

動作環境の要件

動作環境の要件は、SPARC Enterprise T5120 および T5220 サーバの両方で同じです。環境制御システムは、[3 ページの「環境仕様」](#)に指定された制限に適合する冷却用空気をサーバに供給する必要があります。

過熱を防止するため、次の方向に暖かい空気が流れないようにしてください。

- サーバの正面吸気口
- サーバのアクセスパネル

注 – サーバが到着したら、設置する環境にサーバを置いてください。設置場所で、梱包を解かず、24 時間放置してください。この休止期間によって、温度衝撃および結露を防ぐことができます。

サーバは、[3 ページの「環境仕様」](#)に示した動作環境の制限値内で動作させた場合に、すべての機能要件を満たすことがテストによって確認されています。温度または湿度が制限値を超えている環境でコンピュータ装置を動作させると、ハードウェア部品の障害発生率が高くなります。部品の障害発生率を最小限にとどめるため、最適な温度および湿度範囲内でサーバを使用してください。

関連マニュアル

- [9 ページの「電源」](#)

電源

各電源装置を別々の回路に接続することをお勧めします。この冗長接続を行うと、いずれかの回路に障害が発生してもシステムは動作を続けることができます。詳細な要件については、使用地域の電気に関する条例を調べてください。

関連マニュアル

- [10 ページの「周囲の温度」](#)

周囲の温度

サーバの信頼性を保つことのできる最適な周囲温度の範囲は、21～23°C (69.8～73.4°F) です。22°C (71.6°F) では、安全な相対湿度の維持が容易です。環境サポートシステムに障害が発生した場合でも、この温度範囲内で動作していれば、すぐに危険な状態になることはありません。

関連マニュアル

- [10 ページの「周囲の相対湿度」](#)

周囲の相対湿度

データ処理を行うために最適な周囲の相対湿度は、45～50% です。これには、次の理由があります。

- 腐食を防ぐことができます。
- 環境制御システムが故障した場合でも、サーバはしばらくの間動作できます。
- 静電放電による断続的な妨害によって発生する障害を防止することができます。静電放電は、相対湿度が低すぎると発生します。

相対湿度が 35% より低い環境では、静電放電 (ESD) が発生しやすく、除去も難しくなります。相対湿度が 30% より低いと非常に危険になります。

関連マニュアル

- [10 ページの「周囲の相対湿度」](#)

通気に関する考慮事項

- シャーシの通気が妨げられていないことを確認してください。
- 空気が、サーバの正面から吸気され、背面に排気されることを確認してください。
- 吸気と排気に使用されるサーバの通気用開口部が、サーバの前面と背面の間にある開口部の少なくとも 60% に相当する開口部を占めていることを確認してください。この最小 60% の開口部は、サーバモデルに応じて、次の寸法になります。

最小の開口部	メートル法の単位	米国の単位
SPARC Enterprise T5120 サーバ	112.2 cm ² (425 mm × 44 mm)	17.4 平方インチ (16.7 インチ x 1.7 インチ)
SPARC Enterprise T5220 サーバ	224.4 cm ² (425 mm × 88 mm)	34.8 平方インチ (16.7 インチ x 3.5 インチ)

- サーバを取り付けるときには、システムの正面に 5 mm (0.2 インチ) 以上、サーバの背面に 80 mm (3.1 インチ) 以上のスペースが必要です。このスペースの値は、前述の吸気および排気のインピーダンス (使用可能な開口部分) に基づいたもので、開口部が吸気および排気面に均一に分散していると仮定しています。冷却パフォーマンスを高めるために、さらに広いスペースを確保することをお勧めします。

注 - キャビネットドアやドアからサーバまでのスペースなど、吸気および排気に関する制限の組み合わせは、サーバの冷却パフォーマンスに影響を与える可能性があるため、ユーザーが評価する必要があります。

- ラックまたはキャビネット内で排気が再循環しないように考慮してください。
- サーバの排気口の妨げにならないように、ケーブルをまとめてください。

関連マニュアル

- 『SPARC Enterprise T5120/T5220 サーバ製品概要』
- 『SPARC Enterprise T5120/T5220 サーバはじめにお読みください』
- 『SPARC Enterprise T5120/T5220 サーバはじめにお読みください (DC 入力電源作動モデル用)』

FUJITSU